

桜もほぼ5分咲き、学生たちも大学に戻ってきました。来週はいよいよ入学式。新年度もスタートですね。「さぼっと」も設立二年目を迎え、病後児保育など本格的に事業を開始していく予定です。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。それでは、さぼっと通信第 22 号（旧「島根大学・男女共同参画メールマガジン」）をお送りさせていただきます。

☆今号の目次

1. SSH（スーパーサイエンス・ハイスクール）と連携した女子高生理系進路選択支援事業を開始しました。
2. 男女共同参画推進室（さぼっと）のロゴと愛称の採用者への表彰式を行いました。
3. 3/23 グループワークのご報告
4. 連載コラム「育児するお父さんへのエール」第一回  
育休の一つの事例について（上） 倉田健悟

---

☆SSH（スーパーサイエンス・ハイスクール）と連携した女子高生理系進路選択支援事業を開始しました。

---

さぼっとは、SSH と連携して女子高生理系進路選択支援事業を開始しました。その第一弾として、2 月末に理系女性研究者のロールモデルを描いたデジタルコンテンツのパイロット版「大学で研究するということ：大学院（生物系）編」を作成しました。

2 月上旬から 3 月上旬にかけては、松江東高校 SS（スーパーサイエンス）クラスの女子高生に視聴してもらい、映像の感想、理系進学、今後の視聴希望のロールモデルなどについてアンケート調査を行いました。3 月 23 日には、これらの女子高生を本学に招いて、理系学部教員、大学院生、さぼっとスタッフとともに座談会を開きました。そこでは、理系クラスのうち特に SS クラスを選んだ理由や、その選択に関する家族や友人の反応、あるいは将来の進路などに関して、意見交換を行いました。

詳しくは、さぼっとの以下のページをご覧ください。

◎デジタルコンテンツ「大学で研究するということ：大学院（生物系）編」

[http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/event/H21-03-04\\_1/](http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/event/H21-03-04_1/)

◎SS クラス女子高生との座談会

[http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/event/H21-03-24\\_2/](http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/event/H21-03-24_2/)

---

☆ 男女共同参画推進室のロゴと愛称の採用者への表彰式を行いました。

---

3月3日に、男女共同参画推進室の愛称（さぼっと）の採用者、ロゴの原案の採用者、およびロゴの図案化と再デザイン化をしてくださった方々への表彰式が学長室で行われ、それぞれに賞状と副賞が手渡されました。

詳しくは、さぼっとの以下のページをご覧ください。

[http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/event/H21-03-03\\_1/](http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/event/H21-03-03_1/)

---

☆ 3/23 グループワークのご報告

---

3月23日に、男女共同参画推進室女性支援カウンセラー主催のグループワークを開催いたしました。午前の部、午後の部ともに7人の参加者があり、普段の忙しい生活からほんのちょっと離れて、ゆったりとリラックスした時間を過ごしていただけたのではないかと思います。

詳しくは、さぼっとの以下のページをご覧ください。

[http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/event/H21-03-24\\_1/](http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/event/H21-03-24_1/)

---

☆ 連載コラム「育児するお父さんへのエール」（1）

---

今号のさぼっと通信から、育児休暇を取得したことがある、あるいは育児に関心があるという男性教職員によるコラムの一部を紹介します。ではご覧ください。

育休の一つの事例について（上）

倉田健悟（汽水域研究センター准教授、男女共同参画推進室員）

育休を取った経験があるということで、室員になったばかりの私が何かを書くことになった。いや、育休を島根大で初めて取った男性職員ということで、室員の役が回ってきたらしい。こういう機会があるのなら、3年前に多くの新鮮な思いを書き綴っておけばよかった！・・・

続きは、さぼっとの以下のページをご覧ください。

<http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/gender/record/child-men/kurata/01/>

ほかにも男性教職員のなかで、自分の経験や思いを共有したい、紹介したい、という方がいらっしゃいましたら、さぼっとまで、メールか電話でご連絡いただければ幸甚です。

---

このメールマガジンに関するご質問・ご意見は  
[kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp](mailto:kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp) までお願いします。

---

★ お願い ★

このメールマガジンは、島根大学の構成員全員にお伝えしたい内容を掲載しております。allstaff宛のアドレスにお送りしていますが、学部によっては講座の代表者の方にはしか届かない設定がされているところがあるようです。そのような設定の講座等におかれましては、代表の方が講座内のスタッフ全員に転送・配信下さいますようお願いいたします。また、PC環境にないスタッフがおられる講座等では、たいへんお手数ですが、プリントアウトして回覧していただければ幸甚です。

---